

平成 26 年度松楠会支援事業「竹細工教室」報告

だれのための支援活動

竹細工で支援活動をしているとは言うが、竹細工の内容は一番簡単な竹トンボ(時には干支)作り。だが、実はこの活動を通して私自身が材料作りの楽しみや子どもたちの触れ合いの楽しさを味わわせてもらっている。



作業をしている時の子どもたちの表情。やり方は理解できても、馴れない作業に苦労しながらやっと完成。飛んだ時のうれしそうな大声！などなど。子どもたちの素ぼくでかわいい姿に接することが楽しい。後日、児童からもらった感想文の一部を省略しながら紹介すると

◎竹トンボの作り方を…ありがとうございました。難しかったこと二つ…、一つ目はアルコールランプで竹を曲げる所…。火が熱くて…香川先生が手伝って…できました。二つ目は竹をナイフでけずる所…なかなかできなくて…先生が分かりやすく教え…、よく分かりました。…とてもよく飛びました。材料もいろいろ用意して下さい…。

◎簡単だなあと…いざやってみるととても難しかった…でも、できてうれしかったです。

◎昔の遊びもいい。自然に触れ合える…今度は家でもやりたいな。

小学校等への支援活動は、実は私自身への支援活動でもあると思っている。材料を準備する時間が楽しく過ごせると共に、それは手を使うことであり、頭脳の活性化でもある。また、道を歩いていると偶然出会った子どもたちから「竹トンボの先生！」と、声を掛けられることもうれしい。

これらは支援活動をさせてくれているおかげだから、これからも学校等への支援のみとは捉えず、自分自身の老化防止、認知症予防のための大きな支援活動でもあると捉えて頑張りたい。そして、続けられる限りこの活動に参加したいと考えています。

香川 孝典

昭和 32 年学芸学部卒業